

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室そらまめキッズはらら			
○保護者評価実施期間	R7年 11月 10日 ～ R7年 11月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	R7年 11月 10日 ～ R7年 11月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種の専門スタッフが在籍しており、様々な視点からアセスメントを行うことで、適切な支援につなげることができています。	・スタッフ間で研修を行い、知識の共有と共通理解を図るとともに、それを保護者や他機関にも伝える工夫を行っています。	・支援内容や現在の課題を共有する機会を増やし、スタッフ間の連携を深めるとともに、意見交換しやすい職場作りに取り組んでいます。
2	・個別支援だけでなく、ねらいに応じて複数名での支援を取り入れ、より効果的な支援が提供できるようにしています。	・必要な支援を個別で提供するとともに、やりとりやコミュニケーションを重視した支援を行い、日常生活に即した場面へとつなげています。	・複数名での活動においても一人ひとりのねらいを明確にし、個々に応じた適切なアプローチが行えるように工夫していきます。
3	・相談支援や子育てサポートを通じて、家庭との連携を図っています。	・毎月の事業所内相談を通じて、最近の様子や困りごとを丁寧に聞き取っています。 ・支援見学の声かけや支援後のフィードバックを行うなどして、相談しやすく支援の様子が伝わる体制を整えています。	支援見学の機会を更に充実させ、事業所での関わりが家庭や学校など日常場面へ般化するように支援していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	まだまだ併用先との連携が少なく、横の繋がりの部分で弱さがある。	支援をおこなっている時間は見学に来ることが難しいと言われることが多い。利用時間中はお互いに支援中の為、対面での時間確保が難しい。	対面に拘らず、電話連絡やオンライン等を積極的に活用し、連携の幅を広げていきたい。協議会等に参加し、参加されている方と積極的にコミュニケーションを取っていきたい。
2	少人数での活動になるので、集団活動は大型イベント時等に限られてしまう。	個別支援へのニーズが高いため、イベントなどの実施が少ない。	集団活動確保のため、年数回大型イベントを開催し、集団の場を設けている。頻度自体は少ないので、今後もう少し回数を増やせるよう検討していく。定期的に家族参加型のイベントを行っていく。
3	送迎を行っていないので、保護者の方に利用日・利用時間はお仕事をお休みしていただき、送迎の協力を頂いている。	実際に支援を見て頂いたり、参加して頂くことで、家庭でのかかわり方を提案しているため、保護者送迎をお願いしている	今後も保護者送迎を継続し、保護者同伴の意味等を分かりやすく説明を行い、同意を得ながら進めさせて頂く。また、送迎可能な日の振替なども案内もしていく。